

ボランティアの力で進化する おもちゃ図書館つみき

愛知県半田市

半田市おもちゃ図書館つみき



おもちゃ図書館つみき

1994 年に開設し、昨年 30 周年を迎えました。

おもちゃ図書館だけではなく、おもちゃ病院を併設し、おもちゃを大切にする心を育てる活動も進めています。図書館の設置主体は半田市社会福祉協議会ですが、運営については、30 年変わらないボランティアグループが担っており、昔遊びに来ていた子が、おかあさんになって子どもを連れて遊びに来た時も、「懐かしい顔に出迎えらるる」そんな温かい空間ができています。

おもちゃ図書館以外の活動でPR！

運営を担うボランティアグループが、おもちゃ図書館の活動だけではなく、さまざまな団体からの依頼、例えばイベントでのおもちゃ作りワークショップや、児童センター職員の研修など、対象を子どもだけでなく、大人や親子にも広げ、依頼者の希望に沿って活動を広げています。

講座などの依頼を受けていることでおもちゃ図書館の活動がより認知されるようになったと感じています。例えば、イオンリテール(株)様が実施している「幸せの黄色いレシートキャンペーン」では、登録している店舗の寄付候補団体の中では、常に多くのご寄付を頂けているのはその一例であると思います。

おもちゃ図書館の運営をデジタル化！

運営を担うメンバーの高齢化、人数の減少などを補うことを目的に、ボランティアグループが主体となり図書館ソフトを導入しました。おもちゃの貸出作業、管理など作業の効率化を図り、貸出・返却の作業、未返却の管理などが迅速に行えるようになりました。

ソフト導入は男性ボランティアからの提案でしたが、パソコンを使うことに慣れていない女性陣も貸出作業等の習得に協力的で、導入から2年半。パソコンが得意な男性陣の活躍もあり継続できていま

す。さまざまな知識を持った人材に恵まれ、また IT 化を受け入れているボランティアメンバーの協力有っての進化だと感じています。



開館をお知らせする看板

みんなの得意を活かしています！

おもちゃ病院を実施しているためか、運営ボランティアに以前の職を活かした男性メンバーが多いです。精密機械を扱った企業出身者も多いですが、漁師経験者から、各資格保有者などさまざま、女性メンバーについては、仕事をしながらの活動の人も多いです。

男性も女性も、これまで経験がなかったことも、互いに教えあうことで、新しいことに挑戦できています。何事にも協力して当たっているチームワーク

の良さが、おもちゃ図書館全体の雰囲気をととても良いものにしています。



手作りおもちゃ講座

課題はみんなで解決！

コロナ禍での図書館継続について

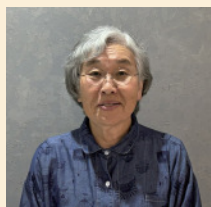
コロナ禍で感染対策として、設置側の半田市社会福祉協議会としては、既に貸出ているおもちゃの返却のみを受け付け、貸し出しはせず、休館をすることを提案しました。

しかし、運営ボランティアからは、「子どもの気持ちを考えると、おもちゃの貸し出しを続けたい」との声が上がり、制限下でのおもちゃの貸出方法を

検討。部屋の入口におもちゃ数点を置き、その中から選んでもらい貸出。また、返却されたおもちゃは即時消毒する、という方法で制限解除まで開館を続けることができました。運営ボランティアのアイデアのおかげで、部屋にも入れない、自由に遊べない制限下であっても新規登録利用者も順調に増えました。今でも引き続き利用して頂いている親子もいます。



開館日の様子



● 代表より一言

現在のメンバーは 50 歳から 90 歳超えの方まで幅広い年齢の方がいます。また、男女や年齢に関係なく頭脳の働きも皆さん抜群で、ボランティア活動の良い影響を感じています。ただ、一時は転居による退会、家族の介護、自身の高齢化などで特に女性メンバーの減少が著しく、綱渡りの開館日になることもしばしばでありました。危惧したメンバーが出欠一覧のアプリを使って参加人数が解る工夫をしてくれたお陰で、人手不足の場合に自ら不足を補う対応をしてくれるようになってきました。メンバーも常に良い人材がいると声を掛けて仲間に誘ってくれたりして、新メンバーによる良い意味での新陳代謝も起こっています。人材不足がこの先も不安要素では有りますが、「定年無し」を励みに出来るところまで続けて行きたいと思っています。(松見真美)

場所・日時

「瀧上工業雁宿ホールおもちゃ図書館・病院」(瀧上工業雁宿ホール 2 階保育室他)

第 2 土曜日 10:00 ～ 14:00/ 第 4 木曜日 10:00 ～ 12:00

「クラシティおもちゃ病院」(クラシティ 3 階市民活動ルーム等)

第 1 土曜日 10:00 ～ 12:00



ブログ